

**業種の垣根を越えて新たな価値を共創し、成長する!!**

オンライン会議  
を中心に活動  
致します!!

# ICT リーダー研究会

## ～ 参加メンバー募集のご案内（約6ヶ月間の活動）～

FUJITSUファミリ会関東支部では、会員の皆様からメンバーを集め、グループ単位で研究活動を推進する「ICTリーダー研究会」を以下の通り開催いたします。

今年度は、「必要な人により良い I C T を！ SDGs達成を念頭に、今だからこそ人に寄り添う I C T を考えよう」をテーマに研究活動を行います。参加メンバー各々が、それぞれの役割を持ち、役職や立場を気にせず自由闊達に意見交換を行います。異業種のメンバーと共に切磋琢磨し成果物を作成する過程は、ICTの知見を広めるだけにとどまらず、新しい視点・着眼点での考え方や気付きが得られ、同業・異業種の方との新たな人脈形成につながります。また今年度はオンラインでの会合を中心活動を行います。期間中には、活動を進めていくうえで必要となるグループ討議の進め方やポイントを学ぶワークショップ、相手に伝わり、説得力のある論理展開が学ぶ論文講座などを設けております。

本研究会を若手・中堅クラスの次世代を担うリーダー人材を育成する場としてご活用いただきたく、皆様におかれましては業務ご多用の折とは存じますが、是非ともご参加いただき宜しくお願い申し上げます。

### 開催期間

**2021年8月27日（金）～2022年2月25日（金）**

※8月にキックオフ、9月にグループテーマ策定、10月に論文講座、2月に報告会を開催予定です。その他の月の会合はオンライン会議を中心活動を行います。

なお新型コロナウィルス感染症の影響により開催日を変更する可能性がございますが予めご了承ください。

### テーマ

**必要な人により良い I C T を！  
SDGs達成を念頭に、今だからこそ人に寄り添う I C T を考えよう**

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます

出典：[PHhttps://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html)（外務省）

### 目標とする 成果

新型コロナウィルスCOVID-19の急速な感染拡大により、SDGsのそれぞれの社会課題も影響を受けています。教育のようにITインフラ整備が前進した反面、それが整わないところでは教育格差が生じたり、経済や雇用の大打撃により、貧困格差や飢餓の解決に向けては遅延が起きています。このような状況だからこそ、真の豊かさと平等を実現するために、異業種交流を通して、SDGs達成を念頭に、必要な人により良い I C T のあり方の調査・研究を行います。

### 対象・定員

経営層

部長層

課長層

リーグ-層

中堅層

若手層

**FUJITSUファミリ会関東支部会員企業の若手・中堅社員の方**

※20代から40代まで

20名程度



### 申込締切

**2021年8月20日（金）**

インターネットからお申し込み

申込

ファミリ会 関東支部



お問い合わせ

FUJITSUファミリ会 関東支部

03-6252-2253

105-7123 東京都港区東新橋1-5-2

## 活動概要

### ◆研究会の狙い

・受け身の姿勢にならず、問題意識を持ち、自らが**積極的**に行動する！

グループへの貢献や**研究活動を通じて得たプロセスは個人の成長につながります。**また**社外人脈を拡げることは参加メンバーのみならず企業の活力の糧になります。**本研究会では、それらを醸成する機会が得られます。

・Know howの吸収と、Know whoの形成をし、**新しい視点・広い視野**を持つ！

社外の人と討議する事で、自部門・自社・自身を客観的に評価することができ、ステップアップする際に必要となる視野拡大を養う契機となります。

### ◆研究の進め方：各グループの自主運営で推進します。（1グループ6～7名程度）。

\* グループ毎に会合の設定、進行、議事録作成 等の役割を決め、研究活動を行っていきます。

\* 研究活動の運営にあたっては、情報共有のツールをご用意します（キックオフ時にご案内致します）。

\* オンライン会議はZoomなどを利用して実施予定です（キックオフ時にご案内致します）。

### ◆成果物

：①成果報告書（論文）（20ページ程度のWord資料）

②成果発表資料（グループで1枚のポスターを作成・PPT資料の予定）

### ◆その他

：①会合の開催はグループ毎で設定いただきますが、基本オンライン会議となるため月複数回で短時間でおこなっていくことを推奨します（前年度は月1回で集合討議での開催でした）。

会合の設定は、参加メンバー持ち回りにして実施いただきたくお願い致します。

②参加者全員が通常業務を抱えながらの活動になります。時にはご負担をお掛けするケースもあるかとは思いますが、他の参加メンバーと協力し合いながら研究を進めて参ります。ご理解いただきたくお願いします。

③成果物の著作権は、FUJITSUファミリ会に帰属させていただきます。

## 活動スケジュール

**※キックオフ他、詳細につきましては、別途参加メンバーへご連絡いたします。**

| 開催日                                       | 内容   | 実施方法           | 提出物                  |
|---|--|----------------|----------------------|
| <b>8月27日(金)</b><br>13:00-18:30            | <b>キックオフ</b><br>・オリエンテーション<br>・ワークショップ<br>ミーティングの進め方やファシリテーション技術などを学び円滑に活動をスタートさせるためのワークを行います。 | オンライン          |                      |
| <b>9月16日(木)<br/>17日(金)</b><br>13:00-18:00 | <b>全グループ共通オンラインプログラム</b><br>各グループで取り組むテーマを議論し意見を出し合い、今後の活動の方向性をまとめます。                          | オンライン<br>又は集合型 |                      |
| 9月  | グループ別会合 ※各グループで設定  | オンライン          |                      |
| <b>10月8日(金)</b>                           | <b>論文講座（熊本大学教授）</b><br>論理展開を学び、相手に伝わり、説得力のある、成果報告書が書けるようワークなど実践しながら学んでいきます。                    | オンライン<br>又は集合型 |                      |
| 11月～2月                                    | グループ別会合 ※各グループで設定  | オンライン          |                      |
| 12月下旬～<br>1月上旬                            | 論文査読（熊本大学教授による事前レビュー）  |                | 12月17日(金)<br>論文タタキ台  |
| 2月上旬～                                     | 論文審査   |                | 2月4日(金)<br>論文完成版     |
| <b>2月25日(金)</b>                           | <b>成果報告会</b><br>研究の成果をメンバー全員に発表いただきます。<br>成果報告書・発表の評価を行い、最優秀グループを表彰します。                        | オンライン<br>又は集合型 | 2月18日(金)<br>ポスター(予定) |

集合型で実施の場合は、以下会場にて開催いたします。

会 場：富士通株式会社 汐留本社 ユーザコミュニティサロン

〒105-7123東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター6階

<https://www.fujitsu.com/jp/about/corporate/facilities/shiodome/>